

公益財団法人 8020 推進財団
令和 5 年度 歯科保健活動助成事業報告書 [抄録]

1. 事業名：オーラルフレイルの早期発見に於ける口腔観察シートの有効性及びその活用に関する調査研究
2. 申請者名：西春日井歯科医師会 会長 田中勝己
3. 実施組織：西春日井歯科医師会
4. 事業の概要：愛知県清須保健所を中心として開発した口腔観察シートの有効性に関するエビデンスの確立を目的として、口腔観察シートの活用によりオーラルフレイル等の口腔内のトラブルの早期発見に於ける口腔観察シートの有効の確認の為、西春日井福祉会の協力を得ての調査研究。
5. 事業の内容：1. 西春日井福祉会の経営する特養ホームの入居者のうち、特に新規で開業した「かもだの里」の比較的認知機能に問題が無いと思われる入居者を対象に口腔観察シートによる事前の聞き取り調査と歯科医師による対象者への口腔内健診の結果がどれほど合致するか調査研究。 2. 西春日井歯科医師会会員の診療所に通院されてみえる患者さんのうち、口腔機能検査を行った方の口腔機能評価と口腔観察シートによる聞き取り調査の結果がどれほど合致するか調査研究。
6. 実施後の評価（今後の課題）：朝日大学歯学部社会口腔保健学教室に在籍する徳本龍弘先生に依頼をして、データ解析をして頂いたところ、前回と同様に要介護者の口腔ケア開始にあたり、歯科専門職以外による「口腔観察シート」（スクリーニング検査）を用いる事により、要介護者への的確な口腔ケア及びオーラルフレイル予防に対して、有用であることが示唆されるとの結論を得た。また、口腔機能低下症の患者に対しても、同様に有用であることが示唆された。 （今後の課題）：今回は、前回調査時に令和 4 年 10 月に愛知学院大学口腔衛生学講座の嶋崎教授をお訪ねして頂いたサジェスション（有意差が生まれ無いのでは無いかとの危惧を述べられた）、1. 今回と同様の調査を行うのであれば、既に高い口腔衛生教育が為されていると思われない対象を調査すべきである事、2. オーラルフレイルとの関係性に特化するのであればオーラルフレイルの診断を行うにあたり社会保険に採用されている種々の検査と口腔観察シートの結果の比較をするべきとのご意見を基に、調査研究を行いました。1. に関しては 2022 年度より西春日井福祉会が開設した「かもだの里」の施設の入居者のみを対象者とした結果は前回の調査と同様に良きものが得られましたので、特養ホームでの調査研究は一端、終了とさせていただきます。2. に関しては既に口腔機能低下症の口腔機能検査を保険請求している西春日井歯科医師会の会員のみの調査では、どうしても十分な症例数もオーラルフレイル診断の為に検査項目も不十分な結果に終わった事を踏まえ、2023 年度 4 月より愛知県歯科医師会が愛知歯科医療センターで行われている事業口腔機能検査事業（7 項目の口腔機能検査を対象者に行っています。）の協力を仰ぐことにより課題の解決を目指していこうと考えています。